

ようこそ！はてしないワクワクの世界へ 「2017 ボランティア体験 in いわて」実施要項

1 目的

子どもから大人までの多世代が自分たちの住む地域への理解・関心を深めながら、ボランティア活動の意義を学び、継続的に参加するきっかけづくりを図る。

また、体験プログラムの提供を通じて多様な施設・団体の参加を促し、ボランティアの活動機会の裾野を広げ、ボランティア活動に関心を持った方々が、身近な地域でボランティア活動に参加できる環境を整える。

併せて、各種施設・団体の活動への理解を促し、将来的な人材確保の取組の一助とすることを目的とする。

2 主催

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

3 共催

市町村社会福祉協議会、ボランティア受入れ施設・団体、岩手県ボランティア団体連絡協議会、市町村ボランティア連絡協議会

4 後援

岩手県、岩手県教育委員会、岩手県社会福祉協議会（市町村社会福祉協議会部会、保育協議会、児童館・放課後児童クラブ協議会、児童福祉施設協議会、高齢者福祉協議会、障がい者福祉協議会、岩手県社会福祉法人経営者協議会）、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、産経新聞盛岡支局、盛岡タイムス社、岩手日日新聞社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

5 体験期間

平成29年7月1日から10月31日までの4か月間のうち、受入れ施設・団体の定める期間

6 体験場所

県内の社会福祉協議会、受入れ施設・団体等の指定する場所

7 参加対象

ボランティア活動に参加したい方

※ 受入れ施設等によって、小学生の参加には保護者同伴を条件とする場合あり。

8 募集人数

受入れ施設・団体が決定する募集定員による。

9 体験内容

- (1) 施設行事への参加（労力奉仕のみの活動は除く。）や利用者との交流
- (2) ボランティア団体、NPO法人、当事者団体、障がい者団体等との協働体験活動
- (3) 被災地域の復興支援に関わるボランティア活動

＊プログラムの一例＊

サロン活動・引越し補助・復興イベントの補助等

10 体験プログラムの募集

開催期間（7月1日～10月31日）前までに募集するとともに、開催期間中も随時募集する。

11 参加証明カードの発行

参加者には、プログラム受入れ施設・団体を通じ、学校又は勤務先に提出可能な参加証明カードを発行する。

12 経費負担

活動諸経費（ボランティア活動保険料、交通費、昼食費等）は、原則として参加者負担とする。

13 体験申込み

体験希望者は、岩手県社会福祉協議会又はずっぱりボランティアいわてホームページの「2017 ボランティア体験inいわて」コンテンツから、希望する施設・団体を選択し、申込方法を確認の上、それぞれの施設・団体の指定に従って申し込む。

14 その他

万一の事故に備えて、参加者にボランティア活動保険への加入を求める。